

愛知県教育委員会教育長 様

2018年9月14日

教職員の危機管理について、「マニュアル（数値等）」及び、「五感、（経験も含む）」にもとづく判断力を高め、対応できるための研修をする事を求める請願。

住所

氏名

宮崎邦彦

請願の経過、趣旨、

*教職員とは、学校に勤務するものを指す。

- (1) 2010年浜名湖で、豊橋の中学校生徒が、学校行事の事故で、なくなったことがありました。講演会報道記事（添付資料1 朝日新聞 2018年7月31日）で、天候が悪い中「なぜ校長に、中止を検討するよう教員がいわなかったのか」「最悪の事態を考えずいけるところまでという意識が悲しい事故・・・」「目の前の子供は自分が守る」という声も上がった。とあります。

請願人は、悪天候の中、校長（天候を確認して実施を決めたとのこと）を含め、教職員は、自らの体感で、危険を感じなかったのか、いまだに疑問をもっています。さらに危険を感じた教職員がいたとしたら、なぜ、声を出して止めなかったのか、明らかにされていません。全員が、「五感」で危険を感じることがなかったのか、感じる力が後退しているのかとも思いました。

- (2) 2018年7月、豊田の小学校で、熱射病で1年生児童がなくなりました。マニュアル作成（添付資料2 2018年9月3日 中日新聞）ということです。

野外活動から、学校にもどり、教室にいて、様態が悪化したとのことでした。もし、学校に戻る前に、医療機関に、搬送されていたら、ということが思われます。

当初、この児童は、周りに、「大丈夫」等ということ、伝えたのではないかと思います。この児童の様子、言葉から、周囲（大人）は、判断が遅れたのではないかと思います。

- (3) 請願人は、なぜこのような推測をしたかという、（参考までに添付資料3 別紙 作成者 請願人 2016年11月2日付 名古屋市行政文書開示請求 別紙）2016年9月のことを思い出しました。学校行事で、停車中の地下鉄を、目撃しました。なかなか動かないので、近寄ってみると、車内で、児童のそばで（後でわかるおなじ学校教職員）大人が大丈夫という声をかけていました。児童は大丈夫という声を返していたようでした。だから、その大人は、車両が止まったままなのに、事態は止まったままでした。時間にしたらそんなに長くはなかったのですが、すぐ病院へ連れて行きなさいという声をかけられて、その大人と児童は車両を降りて、たぶん病院へ向かったと思えました。一緒にいた大人、

愛知県教育委員会

30.9.14

請願第14号

教職員は、たぶん児童に、声をかけた時に、大丈夫というような（返答）対応等をしたので、次の判断、行動ができなかったのではなかったのではと思います。当事者になったら、戸惑いが先に出てしまうのだなあと思いました。

児童の、(腕をはさまれた事故です)負傷対応が、第一ということからすると、すぐ病院です。さらに判断を遅らせることは、車両にも影響することになります。

- (4) 2018年9月8日、高校体育大会で寒さ訴え、生徒36人搬送命に別条なし(添付資料4 YAHOO)というニュースを知りました。校長は「生徒が一生懸命準備していたので雨が降った後もそのままやらせたが、判断が甘かった」とありました。濡れたままだったら、体に悪いということはよく聞きました。

その時は「低体温症」ということは聞いたことはありませんが、今回の報道はどのようにして起きるのかの事例をしる。

生徒の命と健康管理を守るのが校長の責任です。校長は、責任果たさなかったこととなります。他の教職員も、途中からでも、中止を訴えなかったのか、残念です。なぜ訴えなかったのかも、明らかにされることを、望むものである。

- (5) 2018年9月12日、報道、養護学校で体罰 名古屋・天白(2018年9月12日 中日新聞 添付資料6)

報道によると、「動画の情報提供」ということである。

学校内の動画が、情報提供ということは、他の教職員も、目撃者が、あるのではないかと思う。目撃、もしくは何らかの形で認識していた、教職員が、いなかったのか疑問に思う。もしそうであるなら、声に出さなかったことに疑問をもつ。

今後の課題で、児童生徒の、命と健康のために、事件のために、声を上げるということがどのように取り組まれるのか、求めるものである。

請願事項

- 1 教職員が、危機管理(生命・健康 人権も含む)とはなにかを認識して身につける(させる)こと。
- 2 教職員が、危機管理とは何かを認識して、身について対応できるようにする。
- 3 教職員が、児童・生徒の生命・健康(人権も含む)を守るために、マニュアル、五感等を、もとに対応できるようにする事。
- 4 教職員は、学校行事でも、児童・生徒の生命が、最も大切であることを絶えず認識、判断の上、職務に当たること。

口頭陳述希望